

2025 年度 阿南高専出前講座（第 31 回、第 32 回）



株式会社フジタ建設コンサルタント

大寺 礼子

Otera Reiko

建設部門、総合技術管理部門

平成 22 年度より開催しております「阿南高専出前講座」は今年も、阿南高専からの要望を受け、6 月第 4 週の 23 日（月）に建設コースの 3 年生、27 日（金）に同コースの 4 年生を対象に実施しました。

実施までの大まかな流れとしては、まず、4 月下旬に建設コースの先生方と出前講座委員会委員で、講座の内容や開催時期、時間配分について設定しました。その後、徳島県技術士会の皆様に支援スタッフとして、ご協力をお願いした結果、延べ人数 32 名（実人数 21 名）の方にご参加いただき、無事開催が出来ました。ここで、様々な形でご協力いただきました皆様に改めましてお礼を申し上げ、今年度の出前講座の実施状況についてお知らせいたします。

1 [第 31 回] 3 年生対象の出前講座

まだ、就職についての興味や情報が少ない 3 年生が対象であることから、「建設業界の仕組み、技術士の役割と必要性を理解し、建設業界の職種、自分の進路について考えてみよう。」という目的を掲げ、実施内容等を決定してきました。

確保できた時間が 90 分と限られていることから、学生 4 名と技術士 2 名で構成されるグループでのテーブルワークを中心とした講座としました。自分事として考えやすい題材を設定した上で、建設コースの学生として将来の職業や暮らし方について、深く・広く考えていくための仕掛けを考えました。

【仕掛け 1：アイスブレイクを実施し、安心して声を上げられる場の整備】

テーブルワークを行うメンバー内で、アイスブレイクの時間を設定しました。参加者それぞれが思い描く「将来の家」を、お互いに紹介してもらい、質問・回答を繰り返すことで、参加の誰もが安心して考え・声を上げやすい場になることを目指しました。

また、このアイスブレイクの際に「ポストイットと模造紙」を活用することで、後のグループワークの進め方の練習としました。

【仕掛け 2：技術士からの情報提供や働きかけによる理解の深まり】

改めてグループワークとして、アイスブレイクで紹介しあった「将来の家」で起こる災害をはじめとする色々な出来事を考えました。その中で、グループに加わっている技術士からの「情報提供や働きかけ」により、技術士は仕事にどのようにかかわってくるのか、自分はどうなりたいのか、今から何をすればいいのかなど、新たな気づきが発生

することを目指しました。

【仕掛け 3：ミニミニ講義で進路設定のヒントを提供】

グループワークの途中で技術士によるミニミニ講義「建築と土木の違いについて」を実施し、多くの事例を紹介しながらそれぞれの立場や仕事の内容の相違点の説明を行い、建築か土木かという選択に際し、基礎的な情報を得てもらうことを目指しました。

表 1 タイムスケジュール ~3 年生~

開催日：2025 年 6 月 23 日（月）

時 間	内 容
14:00～ (30 分)	【技術士・教員】集合→事前打合せ
14:30～ (5 分)	はじめに
14:35～ (20 分)	アイスブレイク 将来の家は何階建て？その家はどんな場所にありますか？
14:55～ (35 分)	グループワーク ・将来の家の周りで起こるかも知れない災害を想像 ・被害軽減が期待できる事前の対策について
技術士 2 名によるミニミニ講義「建築と土木の違いについて」	
	・事前の対策に関わる職業にどのようなものがあるか (技術士からの情報・話題提供)
15:30～ (20 分)	各グループによる発表
15:50～ (5 分)	おわりに：総括
15:55～ (5 分)	【学生】アンケート記入
(60 分)	【技術士・教員】反省会

出前講座
90 分



写真 1 各グループによる発表



写真 2 [第 31 回]出前講座参加者（3 年生対象）集合写真

2 [第 32 回] 4 年生対象の出前講座

多くの学生が夏休みにインターンシップを控えている状況である 4 年生が対象であることから、「技術士に日常の仕事内容や立場を実際に聞いてみて、自分の進路やインターンシップで学ぶことを考えてみよう。」という目的を掲げ、実施内容等を決定してきました。

授業 2 コマ分 + 休憩の 190 分とまとまった時間が確保できることから、グループのメンバーを変えながら以下に示す 3 つのテーマに対して深く考えていく「ワールドカフェ」という話合いの形式を採用しました。

テーマ 1：「建設分野の職種」

～希望する就職先のイメージとあってるか聞いてみよう！～

テーマ 2：「インターンシップについて」

～インターンシップで何を学び、確認したいか、みんなと情報共有しよう！～

テーマ 3：「もうすぐ社会人となるために」

～阿南高専で学んでいることをどのように活かしてみたいか考えながら、卒業後の生活をイメージしてみよう！～

4 年生対象に、より良いグループワークとなるように設けた仕掛けは以下のとおりです。

【仕掛け 1：悩む時間なく発言が必要となるアイスブレイク採用で意見交換の練習】

アイスブレイクは、防災図上訓練指導員として活動されていた経験がある森正宏様

(技術士：建設部門) に、「授業中 南海トラフ地震が発生！ あなたはどうする？」と題しまして、机上での避難訓練をお願いしました。

南海トラフ地震が発生したと想定した上で、次々に提示される「状況付与」に対して、各個人がどう行動するか？ということを、直ちに「ポストイットに書いて→模造紙に貼りながらグループのメンバーに説明→他にどんな行動が有り得るかと話し合い」をしました。

実際に災害が発生した場合には、考えたり迷ったりしているうちに、状況がどんどん変化していきます。直ちに答えを出すという防災訓練を実施しながら、短い時間で自分の考えをグループ内で共有していく、グループワークでの意見交換の練習としました。



写真 3 森正宏氏によるアイスブレイク（左：実施状況、右：状況付与の例）

【仕掛け2：アイスブレイクを防災関係とし将来の仕事の一面を捉えやすく】

建設・建築分野の仕事では、防災の視点を持つ場面が多くなります。アイスブレイクを防災と関係する内容とし、個人的な避難ということだけではなく、将来の仕事においても防災に携わることになるのだということが想像できるようにしました。

【仕掛け3：ワールドカフェ方式を採用し、多くの意見をまとめる楽しさ】

グループワークの実施方式として、テーブルごとに設定された「テーマ」に沿って、メンバーを変えながら内容を深く掘り下げていく「ワールドカフェ方式」を採用しました。テーブルで出る多種多様な意見のまとめ役（カフェマスター）を技術士が努めることにより、学生の意見をより多く引き出し、分かりやすくまとめ、新たな気づきを得ることを目指しました。さらに、一見まとまりそうにない多くの異なる意見が整理されていく楽しさが、少しでも伝わることを期待しました。



写真4 グループワークの実施状況 写真5 各グループの発表

表2 タイムスケジュール ~4年生~

開催日：2025年6月27日（金）

時 間	スケジュール
12：30～(20分)	集合→事前打合せ
12：50～(5分)	はじめに： 挨拶と予定
12：55～(30分)	アイスブレイク （講師：森正宏） 「南海トラフ地震が発生！あなたはどうする？」
13：25～(10分)	グループワーク： ① ワールドカフェの手順
13：35～(25分)	② ワールドカフェの実施 【1ラウンド】自己紹介 → ポストイットを活用して個人の意見を発表 → 意見交換しながら、ポストイットを追加・整理 【2ラウンド】：人数調整をしながらカフェを移動 カフェマスターから1ラウンドで出た意見を紹介 → 自己紹介、意見交換しながらポストイットを追加・整理
14：00～(25分)	*****休憩*****
14：25～(10分)	【3ラウンド】：人数調整をしながらカフェを移動 カフェマスターから今まで出た意見を紹介 → 自己紹介、意見交換しながらポストイットを追加・整理 【最終ラウンド】：最初のカフェに移動 カフェマスターから今まで出た意見を紹介 → 意見交換しながら整理して、発表内容のとりまとめ
14：55～(20分)	③ 発表 カフェでの内容について学生から報告
15：15～(25分)	おわりに： 総括 → 技術士退場
15：40～(5分)	【学生】アンケート記入 → 提出・解散
15：45～(15分) (60分)	【技術士・教員】反省会

出前講座
190分（うち休憩10分）



写真 6 [第 32 回]出前講座参加者（4 年生対象）集合写真

3 意見交換会の実施

令和 7 年 9 月 20 日（土）に阿南高専の先生 3 名とスタッフ 12 名の参加で、意見交換会を実施しました。出前講座実施後の学生アンケート結果や、意見交換会の事前アンケート結果などを踏まえ、今年度の出前講座の反省と課題、対応について話し合いました。

4 おわりに

今回は、支援スタッフとして初めて参加される方が 3 名あり、また外部の講師をお招きし防災に関する新しい取り組みも導入したところ、概ね好評のうちに無事終えることが出来ました。こうして新たな取り組みに挑戦できるのも、これまでの継続において築かれてきた先生方との信頼関係の上に成り立っているのだと、感じました。

これからも阿南工業高等専門学校の先生や学生の皆様、支援スタッフなど多くの関わる方々にとって、有意義な時間が過ごせる「出前講座」が続けられるよう、挑戦し続けていきたいと考えております。

最後に、以下のとおり学校公式 HP にて「出前講座」の開催が紹介されておりますことを、お知らせいたします。



中学生の方 在校生・保護者の方 卒業生の方 地域

HOME / イベント

2025年07月03日 建設コース学生を対象に徳島県技術士会出前講座が開催



出典：「阿南工業高等専門学校 HP」より

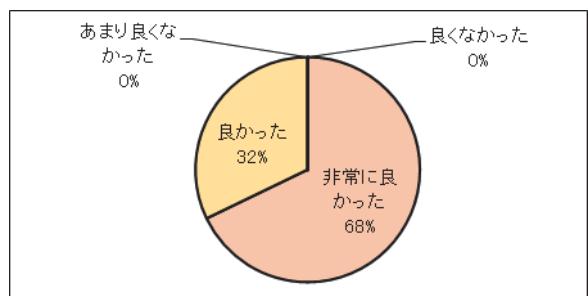
5 【資料1】学生アンケート結果

出前講座の終了時に、学生対象に回答をお願いしたアンケートの結果を整理しました。

5.1 3年生対象アンケート結果

(1) 出前講座の主旨はあなたにとって

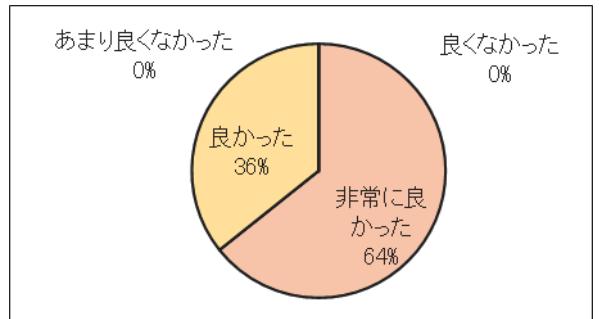
主旨：建設業界の仕組み、技術士の役割と必要性を理解し、建設業界の職種、自分の進路について考えてみよう



主な意見

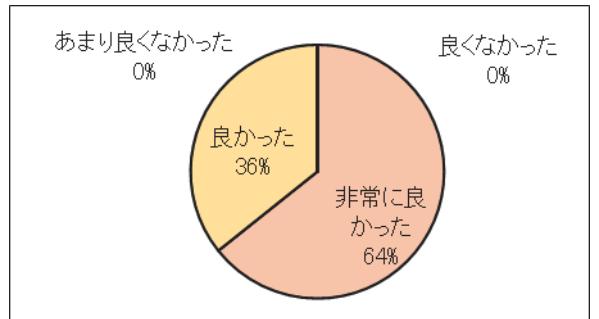
- ・ よく考えることができた
- ・ 出前講座の先生の話が分かりやすくてとても理解できた
- ・ 技術士の人と直接交流できた
- ・ 自分の将来を考えるいい機会になった
- ・ 意外とリアルなことも知ることができた
- ・ 土木と建築の違いがよくわかり、自分の行きたい方向が分かった

(2) アイスブレイクについて



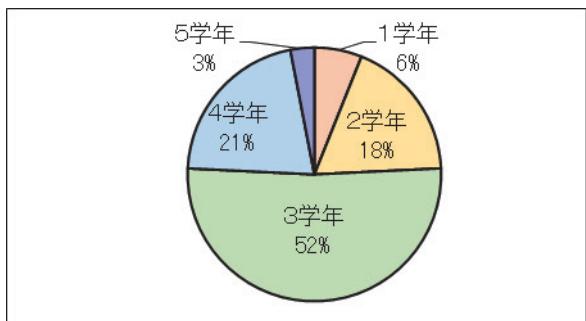
- ・ 楽しかった
- ・ 固い雰囲気がほぐれた
- ・ 講師の人が優しく話しやすかった
- ・ 班の人とのグループワークで意見を共有するのが良かった
- ・ たくさんの意見を出すことができた

(3) グループワークについて



- ・ 楽しかった
- ・ 進行を技術士の人がしてくれて、進めやかったのと、話しやすかった
- ・ 他の人の意見を聞くことが出来て自分にはない考えを持つことができた
- ・ 技術士の人たちの話を聞いて、興味がわいた
- ・ 普段話さないことを話し合えた

(4) このような出前講座だと、何年生で開催してほしいですか



1年生・2年生と回答した人の意見

- ・ 低学年のうちからこのような考え方をするグループワークをした方が良いと思った
- ・ コース選択の前に受けたかった
- ・ 建設コースに入ったばかりの人達に明確な進路を見せてあげたい

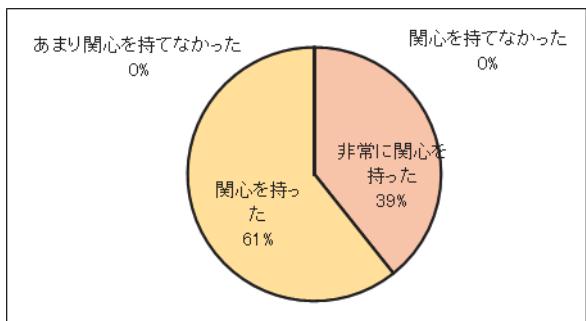
3年生と回答した人の意見

- ・ 将来の事を考え始めるころだから
- ・ 建築に関しても触れているから
- ・ 専門知識もついてきているから
- ・ 大学編入を考え始める中、選択肢を広げてくれるから

4年生と回答した人の意見

- ・ もう一度受けたいから
- ・ 時間に余裕のある学年すべき
- ・ 就職について考える年だから
- ・ 専門についてもっと勉強してもう一度開催して欲しい

(5) 技術士資格について



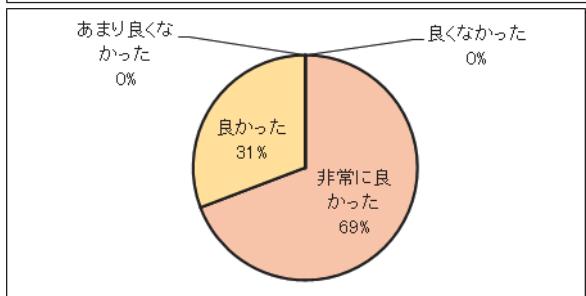
(6) その他のご意見を記して下さい

- ・ ありがとうございました
- ・ とても面白く、自分の将来について考えることができました
- ・ もう一度受けたい
- ・ 技術者に対する理解が深まった

5.2 4年生対象アンケート結果

(1) 出前講座の主旨はあなたにとって

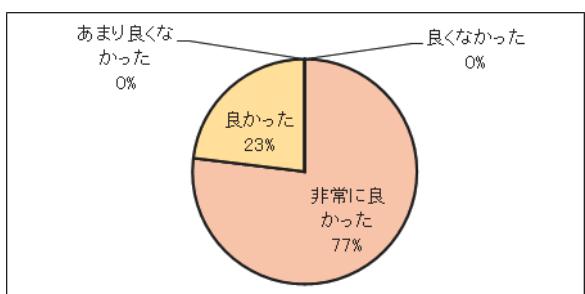
主旨：技術士に日常の仕事内容や立場を実際に聞いてみて、自分の進路やインターンシップで学ぶことを考えてみよう



主な意見

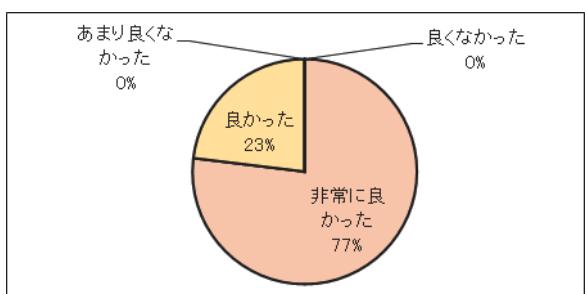
- ・ 技術士の方に話を聞けてこれからのことについて勉強になった
- ・ インターンシップ先や将来のことを詳しく知ることができた
- ・ 知識を楽しみながら深めることができた
- ・ インターンシップで迷っていた
- ・ インターンについてみんなの考えを知れた
- ・ 色々悩んでいた

(2) アイスブレイクについて



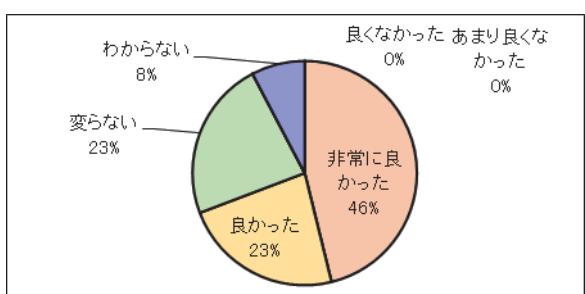
- ・ 災害時のことについて具体的に考えれて面白かった
- ・ 災害が起きた時の判断能力を知ることができた
- ・ 今について考えるきっかけになりよかったです
- ・ スピード感がよくて楽しかった

(3) グループワークについて



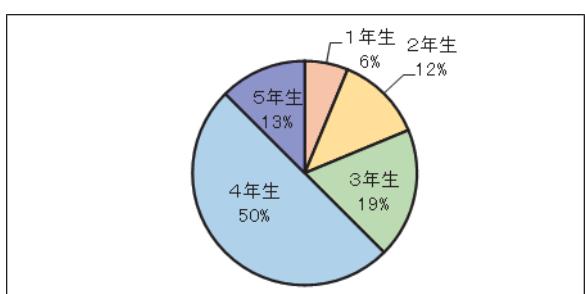
- ・ 周りの人の意見や技術士の人の意見が聞けた
- ・ 普段聞けないクラスメイトの話が聞けた
- ・ 技術士についてや職種について色々知れて楽しかった
- ・ 話し合いのおかげでいろいろな立場から考えられた

(4) 昨年度、受講した出前講座のワークグループと比べて



- ・ 去年より聞きたいことが思い浮かんできて参考になった
- ・ 今年の方がより詳しくインターンのことなどについて質問できた
- ・ 自分の意見をしっかりと話すことが出来た
- ・ どっちも良かった

(5) 今回のような出前講座だと、何年生で開催してほしいですか



3年生と回答した人の意見

- ・ 進路について考えなければいけないから

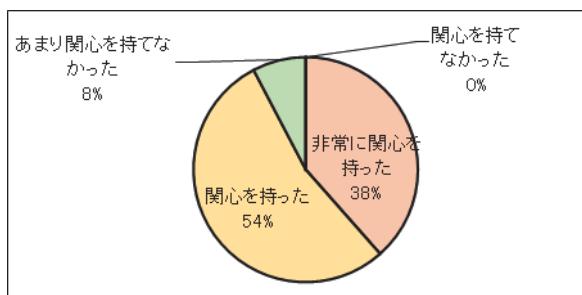
4年生と回答した人の意見

- ・ インターンシップ関係だから
- ・ 高学年になると聞きたいことが増えると思ったため

5年生と回答した人の意見

- ・ 社会に出る直前に、技術士の方の声を聞くことができるから

(6) 技術士資格について



(7) その他のご意見を記して下さい

- ・建設業に興味がない
- ・楽しかった
- ・就職してからいろいろ便利なことが
あると分かった

6 【資料2】支援スタッフ及び先生の意見

各講座の後に実施した反省会及び意見交換会から、主な課題について示します。

表 3 反省会で出た主な課題

項目	主な感想及び課題 など
時間	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し時間に余裕が欲しい（3C）
運営方法	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に応じて課題を絞った方が良いと思った ・発表は前で並んだ方が良いと感じた ・グループワークの用紙にタイトルや班名を書いてもらうフォーマット（例）があっても良いと感じた ・3, 4年生合同で実施することで、身近な先輩の姿を見るのはいいきっかけになると思う ・アイスブレイクは良かった
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に関する情報がもう少し欲しい ・もう少し技術士の魅力が伝えられれば ・技術士資格取得方法をもう少し的確にわかりやすく説明して欲しい ・スタッフに若い参加者が増えてよかったです

表 4 意見交換会で出た主な課題

項目	主な感想及び課題 など
支援スタッフの構成	<ul style="list-style-type: none"> ・若手技術者、女性技術者をもっと多くして欲しい ・建築系の技術者の参加が必要 ・ゼネコン、公務員志望が多かったため、スタッフもその職種の人が増えれば良いと思った